

第 3207 回例会記録	本日のプログラム	次回のプログラム
日時: 2026 年 5 月 28 日 (木) 12:30~ 会場: ホテルサンシャイン2F	6 月 4 日 (木) 7:00~ 早朝例会 (太陽の丘虹のひろば) 担当: 社会奉仕委員会	6 月 11 日 (木) 12:30~ 青少年奉仕委員会担当例会 インターアクト活動報告
佐渡正幸ガバナー地区スローガン Rotary のことを熱く語ろう! ~Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために~		
大西孝弘会長テーマ ただひとつ 原点回帰		

## 会長報告 大西会長

皆様こんにちは。

本日の例会 青少年奉仕委員会担当によります、ライラセミナー報告にご参加いただきありがとうございます。

本日の発表者であります、金川 真也(かながわ しんや)さん、国分 乙葉(こくぶん おとは)さん研修会のご参加ありがとうございました。後ほど発表よろしく願いいたします。

合わせてお二人の勤務先でございます、遠軽信用金庫様のご協力、佐藤健治会員のご配慮に会を代表して御礼申し上げます。

本日の会長報告ですが国際ロータリーにおける「ライラセミナー(RYLA)」についてです。Rotary Youth Leadership Awards (ロータリー ユース リーダーシップ アウォーズ) の略で、日本語では一般的に「青少年指導者養成プログラム」と訳されます。ライラの目的 18~30 歳前後の若者を対象に、リーダーシップ、コミュニケーション力、問題解決力、社会奉仕精神、仲間づくりなどを学ぶ研修・体験型セミナーです。内容は地区によって異なりますが、グループディスカッション、講演、野外研修、チームビルディング、プレゼンテーション、地域課題ワークショップなどが行われるようで、単なる講義形式ではなく、「参加者同士が考え、行動する」体験型が特徴です。

ライラは、国際ロータリーの青少年奉仕活動の一つで、インターアクト、ローターアクト、青少年交換と並ぶ重要プログラムに位置づけされており、地域や社会の未来を担う若者たちが、仲間との対話や共同研修を通じて、リーダーシップや奉仕の心を学ぶ大変意義深い事業です。今回のセミナー内容につきましては、この後お二人より発表していただきますが、参加した若者たちが真剣に地域課題へ向き合い、自分の考えを発信しながら互いに学び合うこと、そして人口減少や地域活力の低下など、地方を取り巻く課題が多い今だからこそ、若い世代が地域の未来を考える機会の重要性を改めて感じております。

私たち 遠軽ロータリークラブとしても、次世代を担う若者への支援と育成を大切に、今後も地域に根ざした青少年奉仕活動を継続してまいりたいと思います。

それでは本日の 青少年奉仕委員会担当例会、ライラセミナー報告よろしく願いいたします。

## 幹事報告 加藤幹事

1, RI2026 年台北国際大会 推進チームメンバー 出村様より

メールが届いております。国際ロータリー 台北国際大会の登録数について◆現在の世界の登録数(5/19 付) 37,500 人。TEAM ジャパン◆登録者数:4,804 人(世界ランキング 2 位)

2, 前島会員にポールハリスフェローのバッジと賞状が届いております。

## 委員会報告 親睦活動委員会 朝長親睦活動委員長

「親睦家族ゴルフ&パークゴルフ大会」開催のご案内

今年度、親睦活動委員会としての最後の事業となります。6 月 27 日(土)に開催いたします。夜間例会にて表彰式を行う予定です。年度末を締めくくると楽しい親睦の機会となりますので、皆様お誘い合わせの上、多数のご参加を心よりお待ちしております。もうひとつ、「エスコン応援ツアー」について、いよいよ開催が間近に迫ってまいりました。当日は午後 1 時にメトロプラザを出発いたします。参加される皆様とともに、今年最高に記憶に残る素晴らしいツアーにしたいと考えております。皆様のご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 前島次年度幹事

クラブ活動計画書およびクラブ活動報告書の提出を 6 月 4 日までに事務局まで厳守にてお願いいたします。今年度役員と来年度役員皆様はよろしく願いいたします。

## 本日のプログラム ライラセミナー報告 福家青少年奉仕委員長

本日は青少年奉仕委員会担当の例会として、去る 5 月 16 日に開催された「第 42 回ライラセミナー」の報告会を執り行わせていただきます。今回のセミナーには、研修生 41 名、ロータリアン 46 名が参加いたしました。当クラブからは、推薦させていただいた遠軽信用金庫の金川さんと国分さんの 2 名が参加し、他地区の若者たちとともに熱心に研修に励まれました。

## 金川 真也様より報告

金川様は、セミナーでの講義やディスカッションを通じて得た「奉仕の精神」と「地域との繋がり」について重点的に報告されました。山岸委員長のセミナー(奉仕について): 白老町でのゴミ拾い活動を例に、「2050 年には海にいる魚よりもプラスチックゴミの方が多くなる」という衝撃的な事実を学び、他人事ではなく自分事として捉える重要性を実感しました。奉仕の本質は「大きなことをしようとせず、自分のできる範囲でコツコツ続けること」であり、「誰かを助けて自分も嬉しくなること」が原点であると教わったことが深く胸に残りました。

た。ロータリーの「超我の奉仕」という標榜についても触れ、奉仕は決して損をすることではないと理解を深めました。川村委員長のセミナー(経済波及効果): セミナー開催が地域の宿泊施設、交通機関、飲食店に利益をもたらし、地域活性化に繋がる仕組みを学びました。グループディスカッション: 「自分たちの住みたい街づくり」というテーマに対し、金川様のグループは「動物と人と環境に優しい街づくり」を提案しました。娯楽施設の充実を求める声がある一方で、自然を守るための小さな奉仕活動(ゴミ拾いなど)とのバランスが重要であるという結論に至りました。交流と今後: 中標津など他地区の参加者との繋がりができたことを喜び、今後もボランティア活動に積極的に参加したいと思えます。

**国分 乙葉様より報告**

国分様は、チームワークの重要性や、過去の経験と今回の学びの結びつきについて詳しく報告されました。奉仕活動への気づき: 山岸委員長の「大きなことは小さなことを積み重ねて成し遂げられる」という言葉に感銘を受け、小さなゴミ拾いも継続することで環境改善の第一歩になると感じまし

た。奉仕は与えるだけでなく、自分も多くを与られているというお話を聞き、過去に参加した「原生の森」での植樹ボランティアの経験と今回の学びが繋がったと思います。経済効果の理解: セミナー開催によって1.6倍の経済効果が生まれることを学び、自分たちの学びが地域活性化の一助になっていることを理解しました。グループワークでの提案: 「持続可能な循環」をキーワードに、教育や公共への投資が人口増加を呼び、それがさらなる利益を生んで街の整備に繋がるというサイクルを提案しました。最初は緊張していたものの、周囲の優しい声掛けに助けられ、「みんなで一つの発表にしよう」という前向きな姿勢の大切さを学びました。社会人として当たり前のことを行う裏には、誰かの支えや信頼があることに改めて気づかされました。この経験を今後の業務に活かしたいと思えます。

お二人の報告からは、単なる知識の習得にとどまらず、地域社会の一員としての自覚や、他者と協力することの喜びを深く学んだ様子が伺えました。

<文責: 宇野メディア委員長>

**■Today's Snap!**



金川様、国分様、ライラセセミナー参加



ライラセセミナー参加報告



前島会員 ポールハリスフェロー授与



日ハム応援ツアー

**■ニコニコBOX**

- 丸尾会員(誕生日 5,000 円)
- 橋本会員(結婚記念日 5,000 円)
- 吉川会員(誕生日、結婚記念日 10,000 円)
- 福家会員(ノーバッジ 1,000 円)

**2025-26 年度累計 550,160 円**

**■出席報告**

例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
5/28	48	47	29		61.7	

**■編集・発行:メディア委員会**

委員長: 宇野勝 副委員長: 佐藤直也  
委員: 植村涼子・黒坂貴行・長嶋宏明・吉田昌子